

今年も残りわずかとなり、4年生はあと3か月で卒業です。

教職コースの4年生は、今年度教員採用試験（中学校国語科）に**過去最高の8名（福岡県6名、北九州市2名）**が合格しました。

今まで積み重ねてきた努力が報われましたね。

おめでとうございます！

今回は、そのうち7名の合格者の皆さんに集まってもらい、**今まで学んできたことや後輩に伝えたいことなどをインタビュー**しました。



まずは志望動機からです。

【福岡県・北九州市の中学校国語科教員を志望した理由は何ですか？】

多数：地元で教員になり、恩返しをしたかったからです。

Aさん：地元以外の新しい地で挑戦したかったからです。また、中学校国語を志望した理由は、国語と書写の両方を教えることができるからです。

Bさん：中学校のときの担任の先生にあこがれていたからです。また、日常生活に欠かせない「言葉」について一緒に学んでいくことが興味深いと思いました。

Cさん：中学2・3年生のときの担任の先生が、生徒にとっても寄り添ってくれる先生で、私の悩みにも向き合ってくださいました。私もこの恩師の先生のように、生徒に寄り添い。生徒が前に進む手助けをすることができる教員になりたいと思いました。

次に、大学で学んできたことについてです。

【大学で学んだことで、今後教員になって一番活かそうなことは何ですか？】

多数：模擬授業を何度もしたことが、やはり一番かなと思います。また、授業のつくり方や、生徒が興味をもつ授業の工夫なども学べたことがよかったと思います。

Dさん：国語科はもちろん、特別支援教育や心理学、図書と、幅広く学んできましたので、これから生徒と関わっていくなかで活かせると

思います。

Eさん：大学で、一つの物事について追求することの楽しさを学びましたので、今後教員になっても学び続けていきたいと思います。

最後に、後輩に伝えたいことについてです。

【高校生や大学生が、教員採用試験合格に向けて、

今からやっておいた方がいいことはありますか？】

多数：まず授業をしっかり聞き、復習をすることです。それから、大学1年生のときから良い成績をとることかな（笑）。

Fさん：人前で話す練習や、大きな声で話せるようになること。それから、過去の採用試験の問題を解いていくことです。

Gさん：ボランティアやGT（グリーンティーチャー）など、日ごろから地域の人や子どもたちとの関わりを大切にすることです。

Bさん：先生方に助けていただいたり、仲間と協力したりして、できる限りの準備をしておくことです。それから、試験本番で、これほど努力してきたのだから大丈夫だという気持ちをもてるようにすることです。

皆さん、ありがとうございました！

九女大でたくさんの方を学んで、みごと合格に輝いた皆さんなら、これからどんな困難があっても、乗り越えていけそうですね。すてきな先生になってください！

